

新日軽

ネオデッキ

組立施工マニュアル

目 次

●販売店・工事店様へのお願い……………	P	1
●規格寸法図……………	P	2
●規格表……………	P	3
●束柱の位置（デッキ材横張り 単体 連棟）……………	P	4～ 6
（デッキ材たて張り 単体 連棟）……………	P	7～ 9

組立手順

①束柱・根太・根がらみの取付……………	P	10～11
②束柱の固定……………	P	12
デッキ材を張る前に……………	P	13
③デッキ材の取付……………	P	14
④鼻隠しの取付……………	P	15
⑤点検口の組立……………	P	16
⑥納まり図……………	P	17～20
●工具……………	P	21
●お施主様へ……………	P	22
●施工工務店様・販売店様へのお願い……………	P	23

■ 販売店・工事店様へのお願い

○正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。

⚠ 注意

(取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負う危険性及び物的損害の発生が想定されることを示します。)

- Mウッドデッキは立てかけて置かず、平置きにしてください。
- 木口を地面（堅い所）に置く時は、衝撃を与えないでください。
(特に45度にカットされた鼻隠し材は注意してください。)
- デッキ材、鼻隠し材へのビス取付時電気ドライバーのトルクは弱い力に設定してビス打ちを行ってください。
- ビス、打ち直しの場合は打つ位置を変えてください。
- デッキを叩く時は当て木をするか、又はゴムハンマーを使用してください。
- デッキ材を縦に切断して使用する場合はリブの外側まで入る様な割付けをしてください。
(小さな断面での縦使いをすると大きく反ります。)
- 施工の際、木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。
- 踏み台になるような物の上に乗ると落下の危険が生じます。特にお子様には注意してください。
- みだりに改造、変更をしないでください。

お 願 い

(特定の行為の義務付けを示します。)

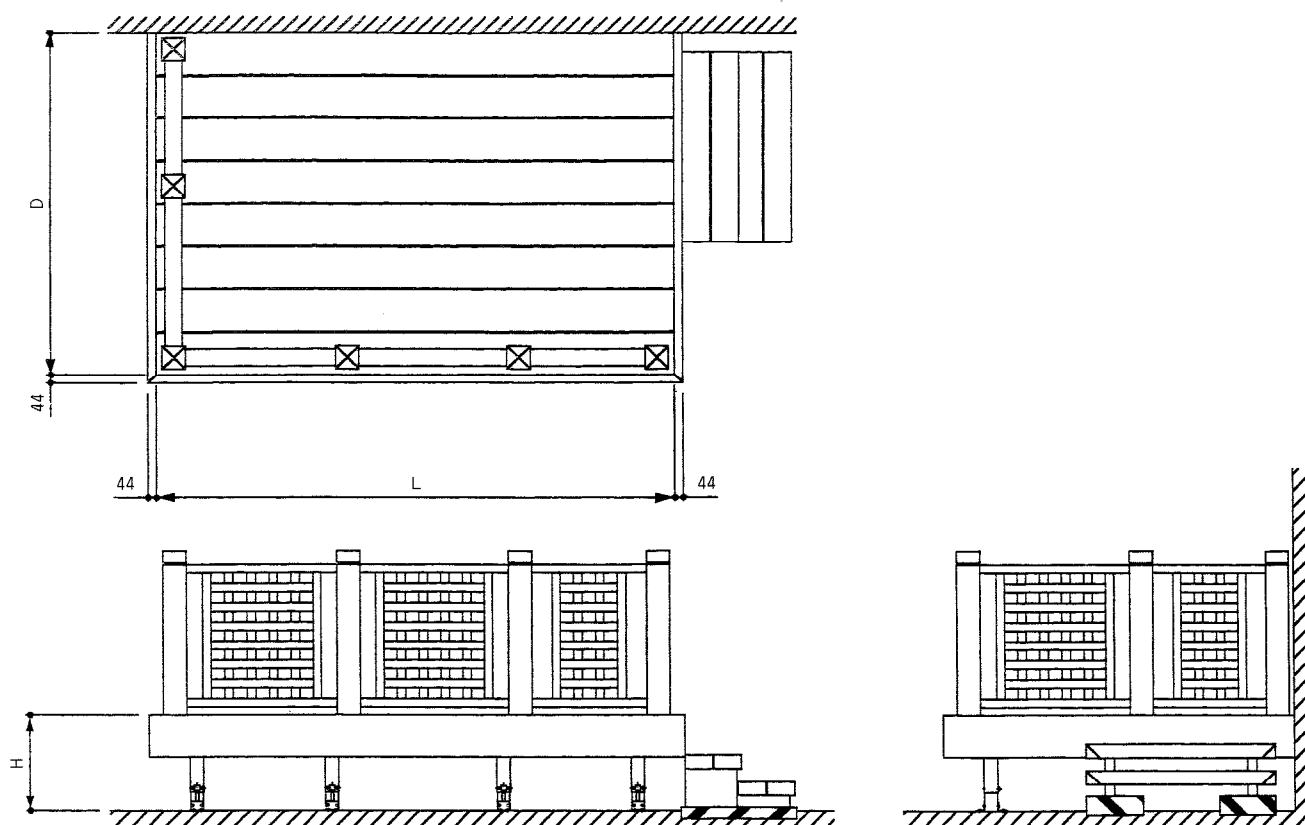
- 施工を始めてから手直しが出ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。
特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出ていない場合 取り付かない場合があります。また、十分な強度が出ない場合もあり、大変危険ですので注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。
建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。
- デッキ表面に傷（小さな）がついた場合は塗料を水で薄めに溶いて傷の箇所に2～3回塗りつけてください。
- デッキ材の切り粉は木材と違い、樹脂成分が含む為、土に戻りませんので掃き集めてゴミと共に廃棄してください。(デッキ材にまつわりついた切り粉は濡れ雑巾で拭くと取れやすくなります。)
- デッキ材は多少の反りが有る物が有りますが、固定時に強制しながら取り付けてください。

● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては、異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">● アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。持触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。● モルタル用に海砂を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。● モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none">● モルタルやコンクリートの凝結剤は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。● 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。● 腐蝕の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。 |
|---|---|

■ 規格寸法図



◎間口：L × 出巾：D

横張り

たて張り

間口 (L)	出 巾 (D)		間口 (L)	出 巾 (D)		間口 (L)	出 巾 (D)		間口 (L)	出 巾 (D)	
1.0間 (1800)	3尺	895	3.0間 (5400)	3尺	895	1.0間 (1795)	3尺	900	3.0間 (5395)	3尺	900
	6尺	1795		6尺	1795		6尺	1800		6尺	1800
	9尺	2695		9尺	2695		9尺	2700		9尺	2700
	12尺	3595		12尺	3595		12尺	3600		12尺	3600
1.5間 (2700)	3尺	895	3.5間 (6300)	3尺	895	1.5間 (2695)	3尺	900	3.5間 (6295)	3尺	900
	6尺	1795		6尺	1795		6尺	1800		6尺	1800
	9尺	2695		9尺	2695		9尺	2700		9尺	2700
	12尺	3595		12尺	3595		12尺	3600		12尺	3600
2.0間 (3600)	3尺	895	4.0間 (7200)	3尺	895	2.0間 (3595)	3尺	900	4.0間 (7195)	3尺	900
	6尺	1795		6尺	1795		6尺	1800		6尺	1800
	9尺	2695		9尺	2695		9尺	2700		9尺	2700
	12尺	3595		12尺	3595		12尺	3600		12尺	3600
2.5間 (4500)	3尺	895				2.5間 (4495)	3尺	900			
	6尺	1795					6尺	1800			
	9尺	2695					9尺	2700			
	12尺	3595					12尺	3600			

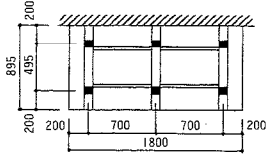
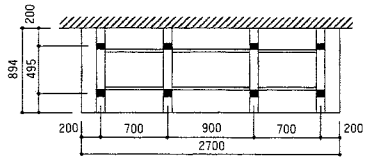
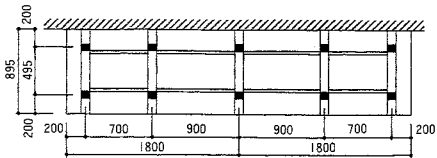
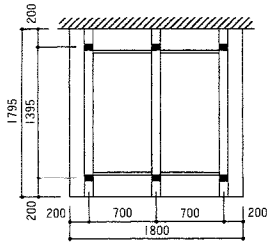
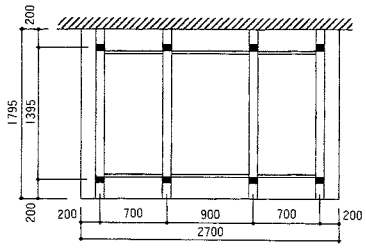
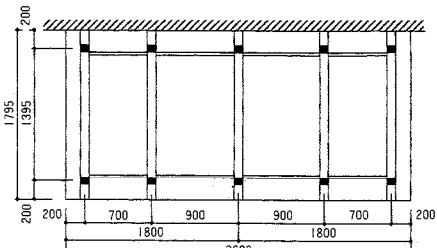
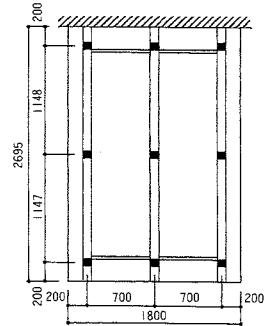
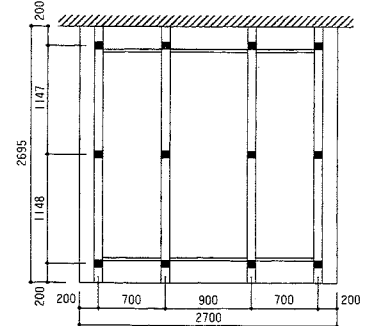
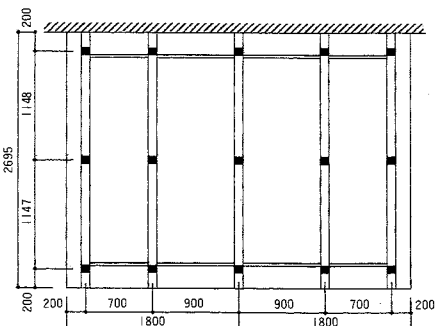
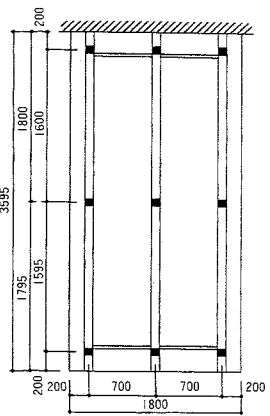
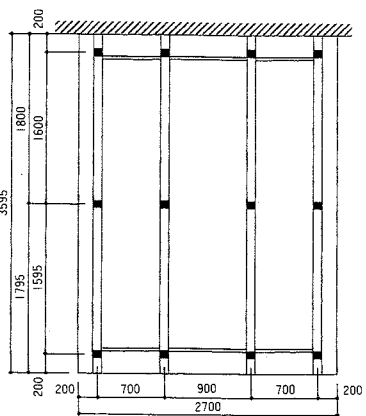
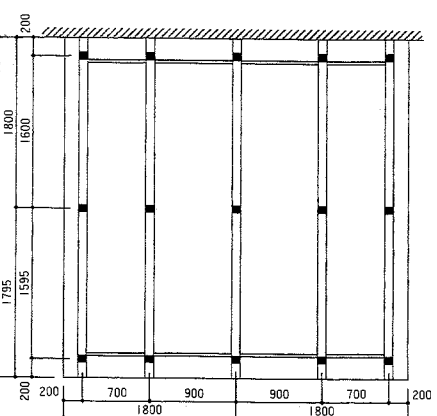
◎高さ：H

奥 行	標準柱仕様	長柱仕様
H	500 ± 50	750 ± 50

■ 規格表

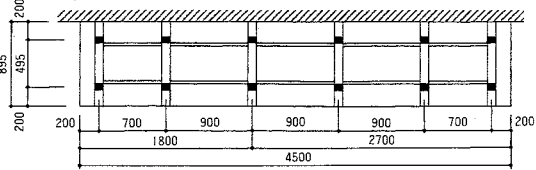
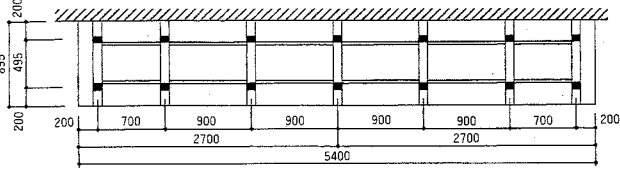
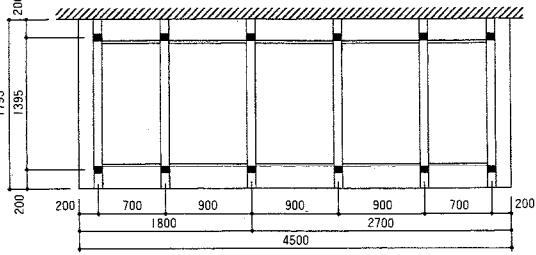
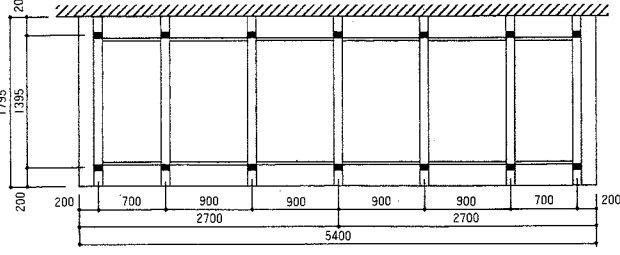
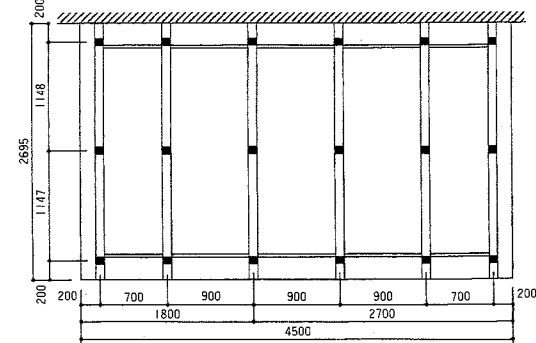
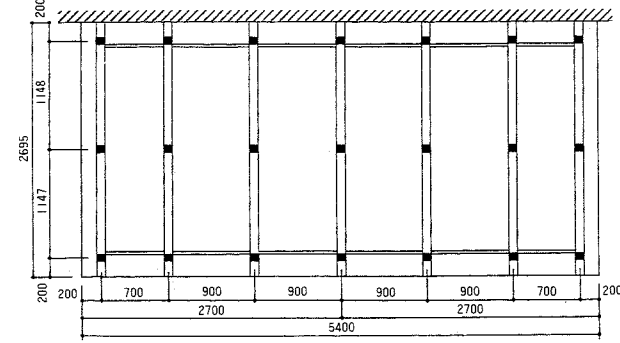
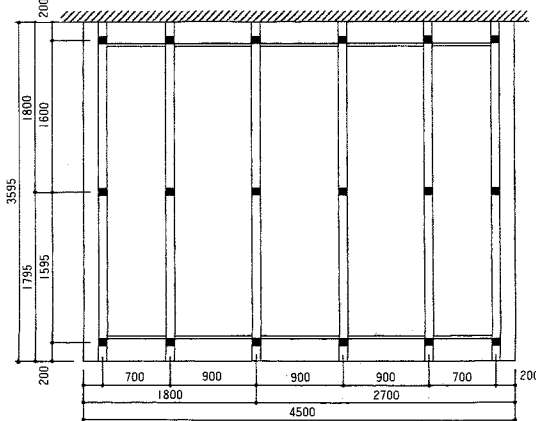
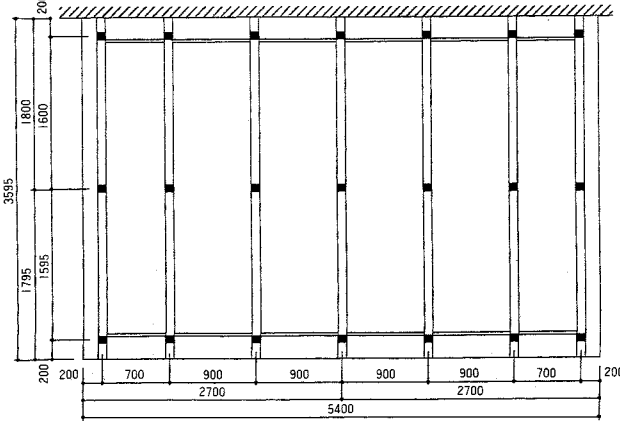
名 称			記 号		梱 包 内 容	
根太	1.0間		TNTR	B18L	根太 L = 1800 (90×60) : ①	
	1.5間		↓	B27L	根太 L = 2700 (90×60) : ①	
束柱	標準柱	2本入り	SNTR ↓ ↓	T2	束柱 L = 354 : ②、セット部品 : ①	
		3本入り		T3	束柱 L = 354 : ③、セット部品 : ①	
	長柱	2本入り		TL2	束柱 L = 654 : ②、セット部品 : ①	
		3本入り		TL3	束柱 L = 654 : ③、セット部品 : ①	
根がらみ	0.5間			N09	根がらみ L = 890 : ②、セット部品 : ①	
	1.0間			N18	根がらみ L = 1790 : ②、セット部品 : ①	
	1.5間			N27	根がらみ L = 2690 : ②、セット部品 : ①	
	2.0間			N36	根がらみ L = 3590 : ②、セット部品 : ①	
デッキ材	1.0間		TNTX ↓	D182A	デッキ材 L = 1800 : (220×44) : ②	
	1.5間			D272A	デッキ材 L = 2700 (200) : ②	
鼻隠し	1.0間		↓	K191A	鼻隠し L = 1900 (220×44) : ① [片側45°カット]	
	1.5間			K281A	鼻隠し L = 2800 (220×44) : ① [片側45°カット]	
鼻隠し用 ネジ持ちB	2本入り		KNTX ↓ ↓	UB2	鼻隠し用ネジ持ちB L = 900 (30×35) : ②、ビスセット : ①、取説 : ①	
	3本入り			UB3	鼻隠し用ネジ持ちB L = 900 (30×35) : ③、ビスセット : ①、取説 : ①	
ブラケット セット	20個入り	BOX1		Tブラケット : ②⑩、ビスセット : ①		
	30個入り	BOX2		Tブラケット : ③⑩、ビスセット : ①		
鼻隠し用 ネジ持ちA	10個入り	BOX3		鼻隠し用ネジ持ちA L = 70 (30×35) : ⑩、ビスセット : ①		
	15個入り	BOX4		鼻隠し用ネジ持ちA L = 70 (30×35) : ⑪、ビスセット : ①		
補修塗料	200cc入り			TNTX ↓	ZT02A	補修塗料 : ①、取説 : ①
	1000cc入り				ZT10A	補修塗料 : ①、取説 : ①

■ 束柱の位置（デッキ材横張り 単体、連棟）

	間口 1.0間	間口 1.5間	間口 2.0間
出巾 3 尺	デッキ材 4 枚 	デッキ材 4 枚 	デッキ材 8 枚 
出巾 6 尺	デッキ材 8 枚 	デッキ材 8 枚 	デッキ材 16 枚 
出巾 9 尺	デッキ材 12 枚 	デッキ材 8 枚 	デッキ材 16 枚 
出巾 12 尺	デッキ材 16 枚 	デッキ材 16 枚 	デッキ材 32 枚 

* 注）上図割付法は、デッキ材目地巾 5 mm で、鼻隠し材の巾寸法は、含んでいません。

■ 束柱の位置（デッキ材横張り 単体、連棟）

	間口 2.5間	間口 3.0間
出巾 3 尺	デッキ材 8 枚 	デッキ材 8 枚 
出巾 6 尺	デッキ材 16 枚 	デッキ材 16 枚 
出巾 9 尺	デッキ材 24 枚 	デッキ材 24 枚 
出巾 12 尺	デッキ材 32 枚 	デッキ材 32 枚 

＊注）上図割付寸法は、デッキ材目地巾 5 mm で、鼻隠し材の巾寸法は、含んでいません。

■ 束柱の位置（デッキ材横張り） 単体、連棟）

	間口 3.5間	間口 4.0間
出巾 3 尺	デッキ材12枚	デッキ材12枚
出巾 6 尺	デッキ材24枚	デッキ材24枚
出巾 9 尺	デッキ材36枚	デッキ材36枚
出巾 12 尺	デッキ材48枚	デッキ材48枚

＊注）上図割付寸法は、デッキ材目地巾 5 mm で、鼻隠し材の巾寸法は、含んでいません。

■ 東柱の位置（デッキ材たて張り）単体、連棟

	間口 1.0間	間口 1.5間	間口 2.0間
出巾 3 尺	デッキ材 8 枚 	デッキ材 12 枚 	デッキ材 16 枚
出巾 6 尺	デッキ材 8 枚 	デッキ材 12 枚 	デッキ材 16 枚
出巾 9 尺	デッキ材 8 枚 	デッキ材 12 枚 	デッキ材 16 枚
出巾 9 尺	デッキ材 16 枚 	デッキ材 24 枚 	デッキ材 32 枚

＊注）上図割付寸法は、デッキ材目地巾 5 mm で、鼻隠し材の巾寸法は、含んでいません。

東柱の位置（デッキ材たて張り） 単体、連棟）

	間口 2.5間	間口 3.0間
出巾 3 尺	デッキ材20枚	デッキ材24枚
出巾 6 尺	デッキ材20枚	デッキ材24枚
出巾 9 尺	デッキ材20枚	デッキ材24枚
出巾 12 尺	デッキ材40枚	デッキ材48枚

*注) 上図割付寸法は、デッキ材目地巾 5 mm で、鼻隠し材の巾寸法は、含んでいません。

■ 東柱の位置（デッキ材たて張り 単体、連棟）

	間口 3.5間	間口 4.0間
出巾 3 尺	デッキ材28枚 	デッキ材32枚
出巾 6 尺	デッキ材28枚 	デッキ材32枚
出巾 9 尺	デッキ材28枚 	デッキ材32枚
出巾 12 尺	デッキ材56枚 	デッキ材64枚

＊注）上図割付寸法は、デッキ材目地巾 5 mm で、鼻隠し材の巾寸法は、含んでいません。

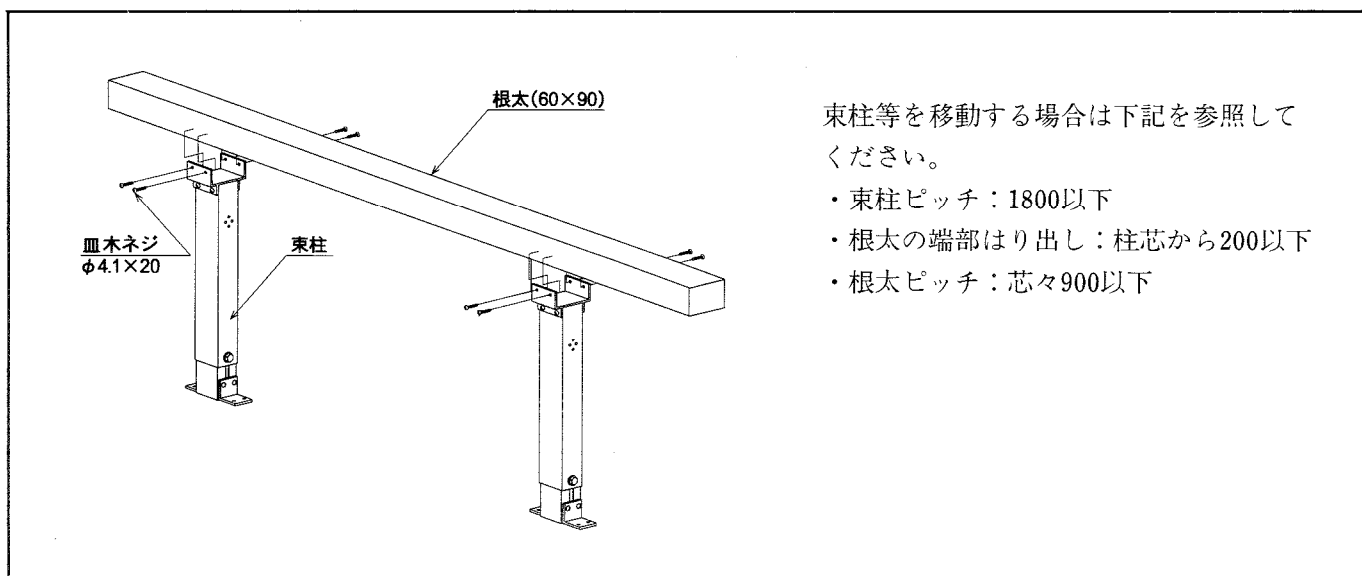
組立手順

※根がらみ内に木製デッキ 2 型の組立マニュアル (ME-1330) が入っていますが、組立て手順は本マニュアルを参照してください。

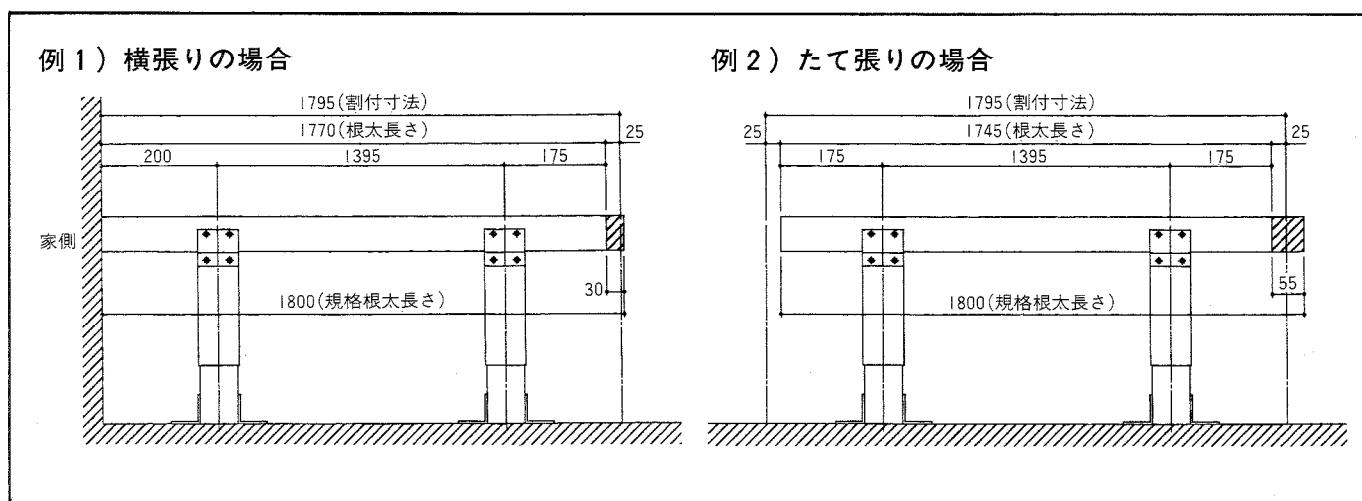
1 束柱・根太・根がらみの取付け

1) 束柱・根太の取付

ページ 4 ～ 9 までの割付図を参照して根太と束柱を組立てください。

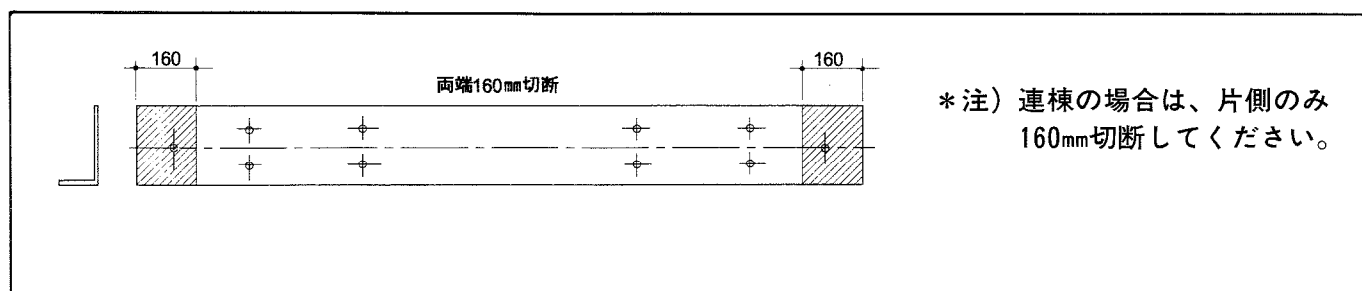


※注) 根太の長さは割付寸法と異なっています。
下記の例を参照して、切断の上、組立てください。

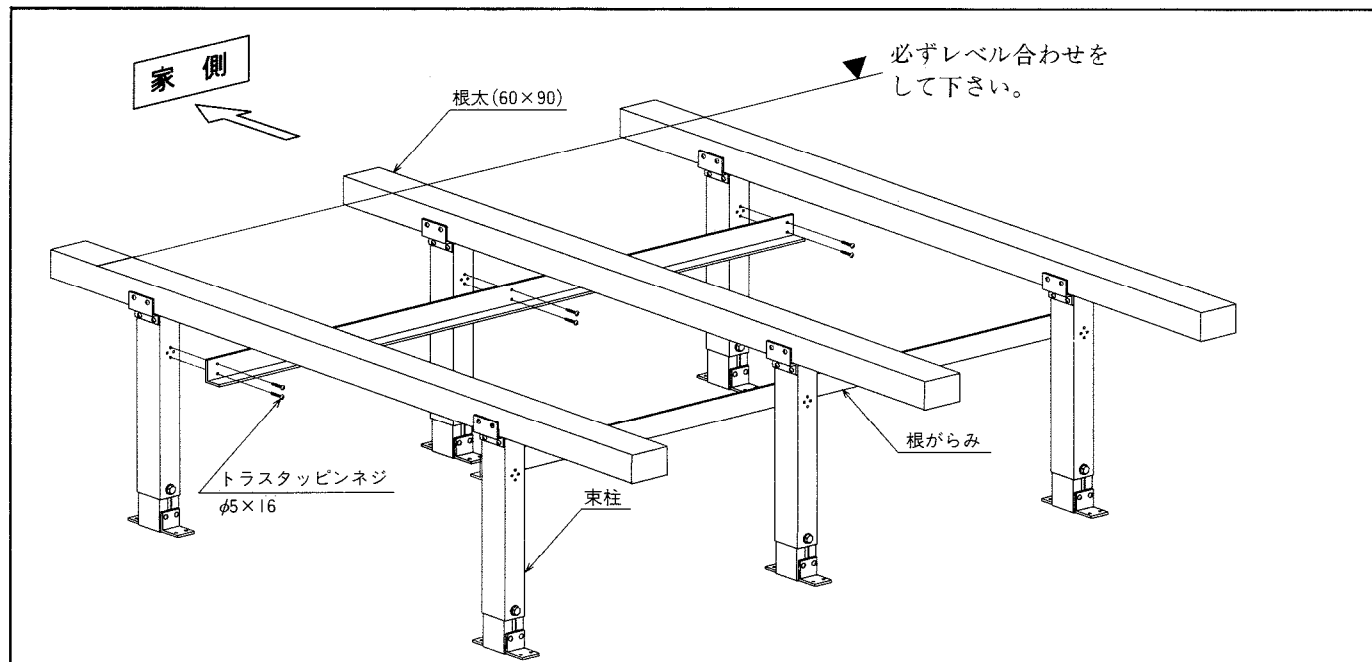


2) 根がらみの取付

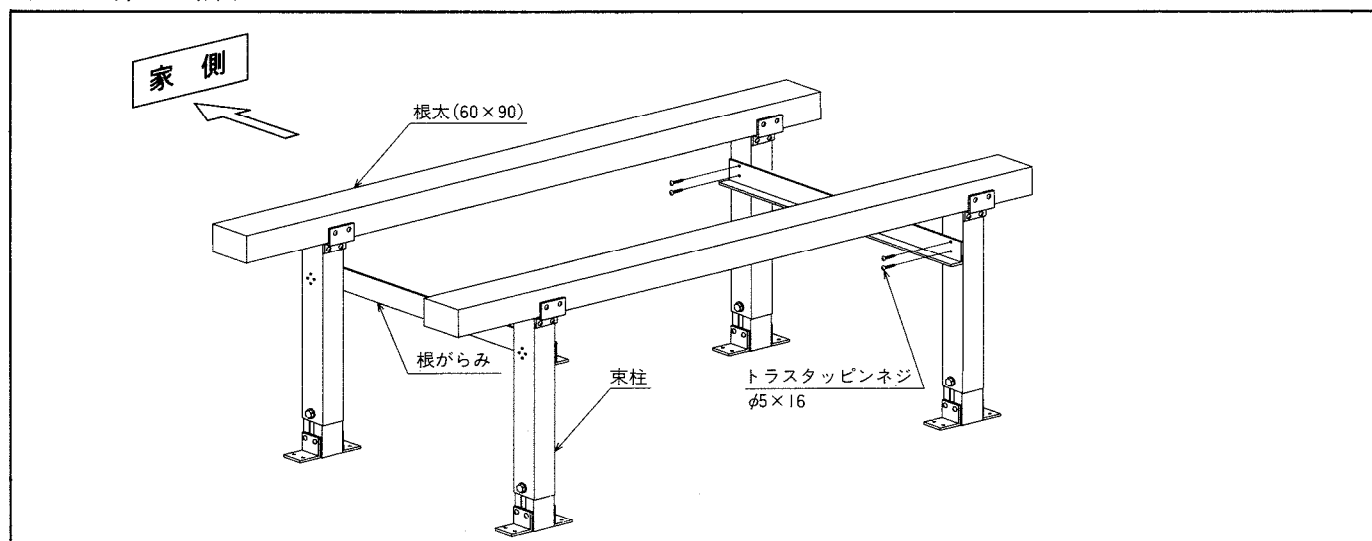
根がらみは、連棟を考慮した部材長さになっているため、下図の加工図を参考に切断を行ってください。
次に全体の左右(連棟する場合は連棟部にも)の束柱へφ5×16トラスで取付けをしてください。



<デッキ材横張り>



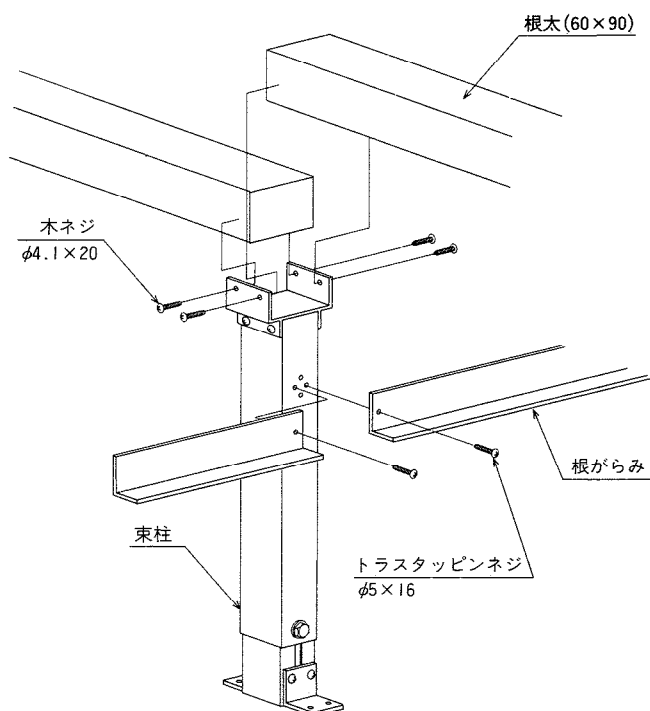
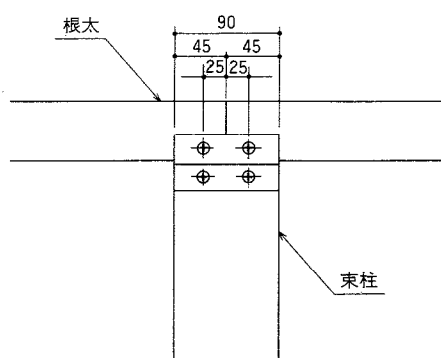
<デッキ材たて張り>



根太・根がらみの連結

- 根太は束柱のまん中で連結するようにしてください。

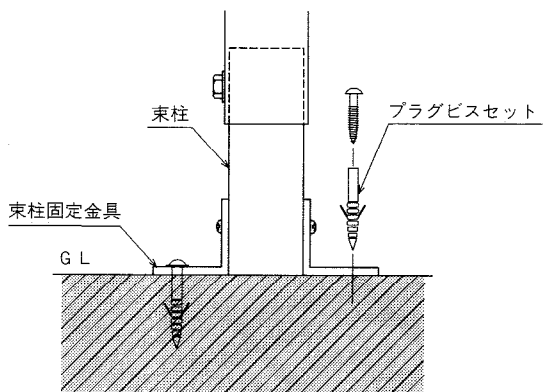
*注) 連結の場合は、根太の連結部に束柱がきます。
ページ4～9を参照して束柱の立つ位置に注意してください。
根太の切断加工が発生する場合は前ページを参照してください。



2 束柱の固定

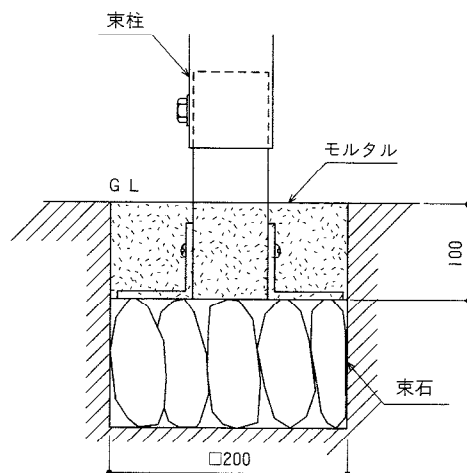
1) 現場の状況に合った取付方法で束柱を固定してください。

〈アンカー止めの場合〉



* 土間の上に直接置き $\phi 6$ の下孔を明けプラグビスセットで固定します。

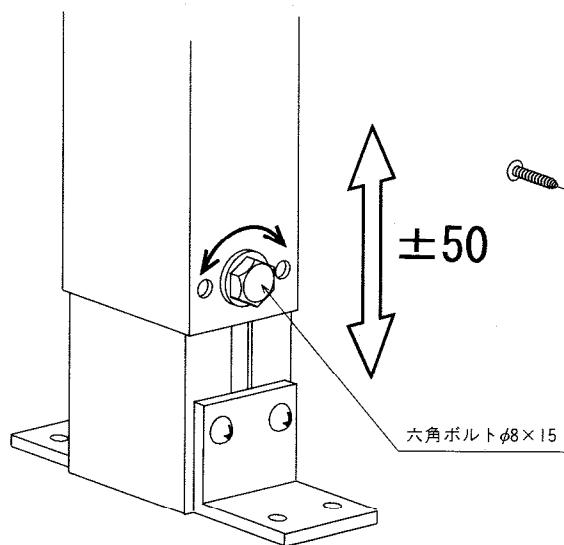
〈埋め込みの場合〉



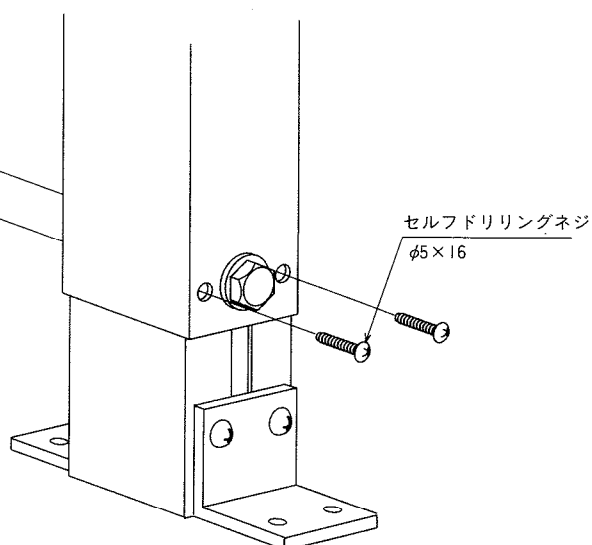
* 束石をG Lより100mm下げて埋込み、束柱を乗せてモルタルで固めてください。

2) 束柱の高さ調整

束柱を固定してから高さ調整が必要な場合、六角ボルトM8×15をゆるめ高さを調整してください。高さが決まれば、六角ボルトを本締めし、セルフドリリングネジ $\phi 5 \times 16$ で固定してください。



・上下に調整



・セルフドリリングネジ $\phi 5 \times 16$ で固定

〔*注〕 高さ調整は上下50mmずつ可能ですが、それ以上延ばすと強度上問題があります。次に示す高さ以上にはしないでください。〕

標準束柱：G Lからデッキ面まで547mm

長束柱：G Lからデッキ面まで797mm

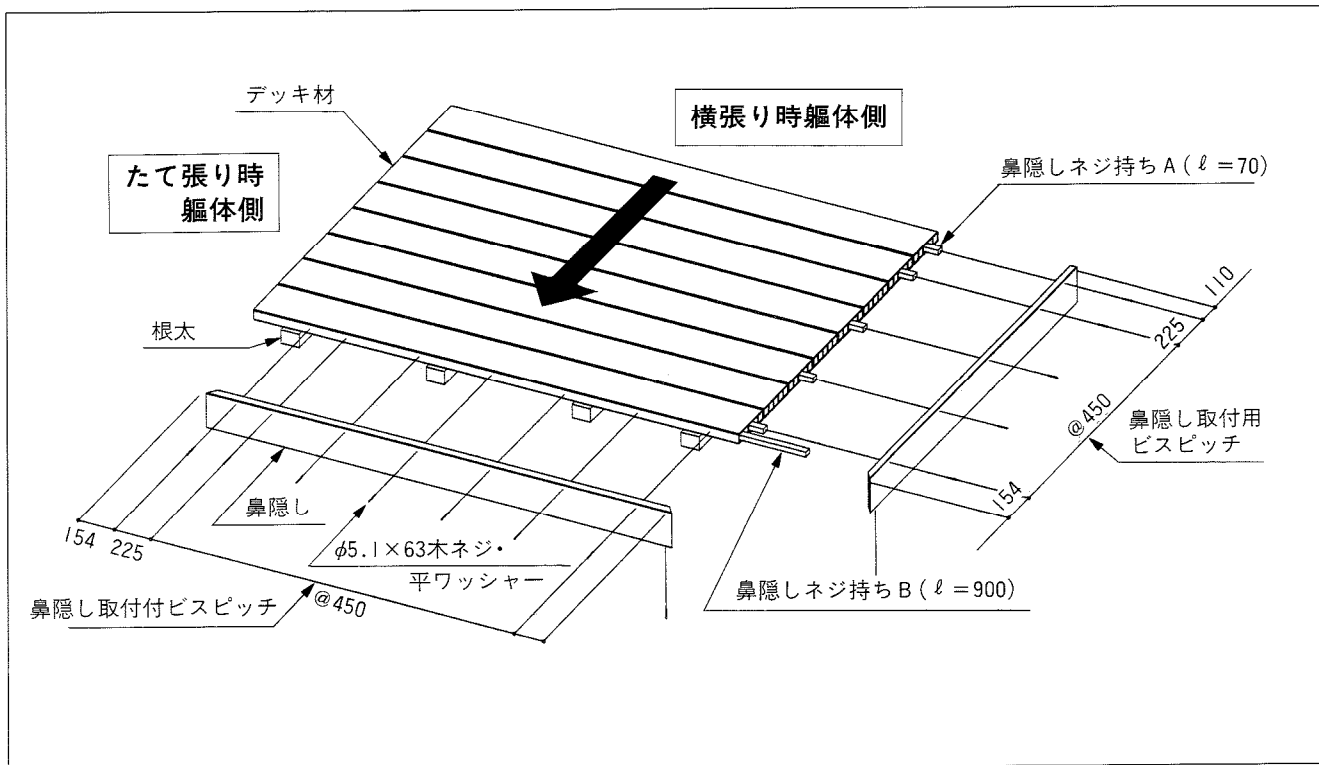
(ただし、上記の寸法は土間の上に直接束柱を置いた時の寸法で、鼻隠し上面はデッキ面より3mm高くなります。)

デッキ材を張る前に

■デッキ材の取付けには順番があります。

- ・横張り時は下図の様に必ず躯体側より取付けてください。
- ・たて張り時は左右どちらからでも構いませんが、連棟時も必ず一方向から取付けてください。

デッキ説明図



■デッキ取付時使用部品について

- ・取付前に下記をお読みください。

①ブラケットセット

- ・基本的にデッキと根太の交点1ヶ所につきブラケットを2個使用します。
- *デッキの連結部は1本の根太の上に2本のデッキが載るものとして考えてください。
- *根太の両端部だけはブラケットは1個使用となります。

②鼻隠し用ねじ持ちA

- ・このねじ持ちはデッキ材の木口部と鼻隠しの取付部と鼻隠し同志の連結部（コーナー・連棟部）に使用します。

1) デッキ材の木口部と鼻隠しの取付部

- ・450mmピッチでの取付となりますのでデッキ2枚に1個を目安としてください。

2) 鼻隠し同志の連結部（コーナー・連棟部）

- ・コーナー及び連棟部各1ヶ所につき2個の拾い出しとなります。

③鼻隠し用ねじ持ちB

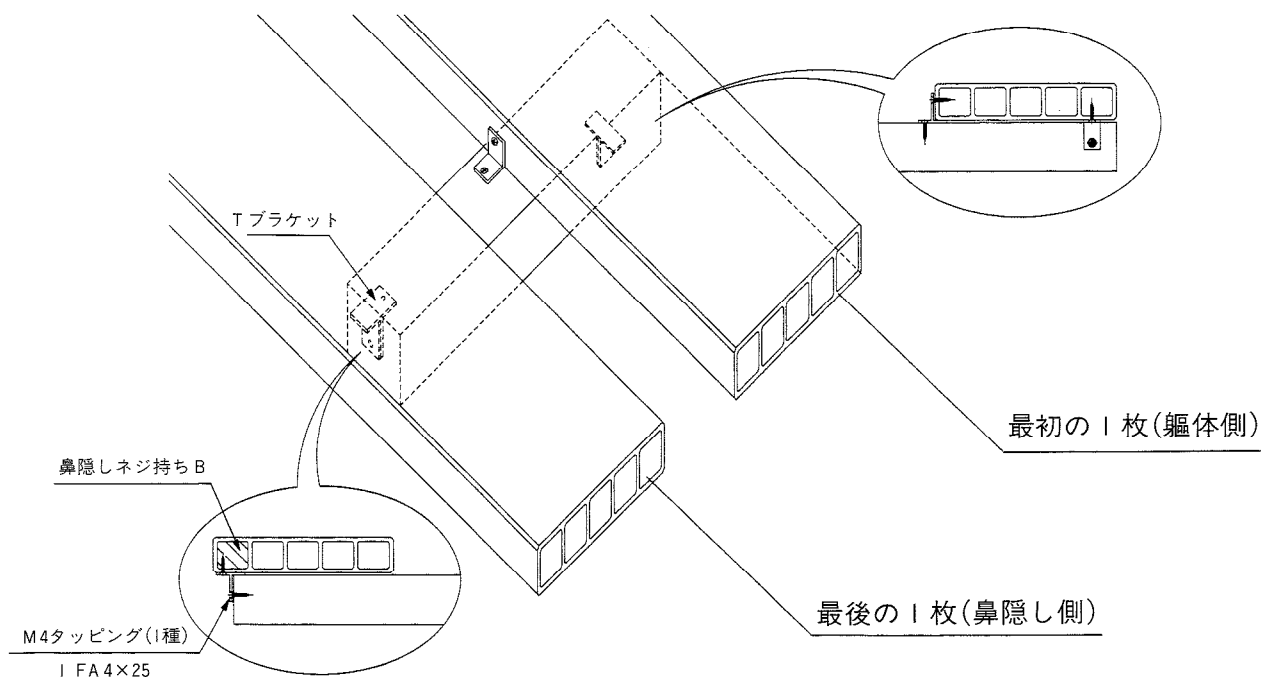
- ・デッキ材の側面と鼻隠しを留める部分に使用します。

- 1) ねじ持ちの長さは900mmですのでデッキ材の側面と接する鼻隠しの長さ分を拾い出してください。

3 デッキ材の取付け

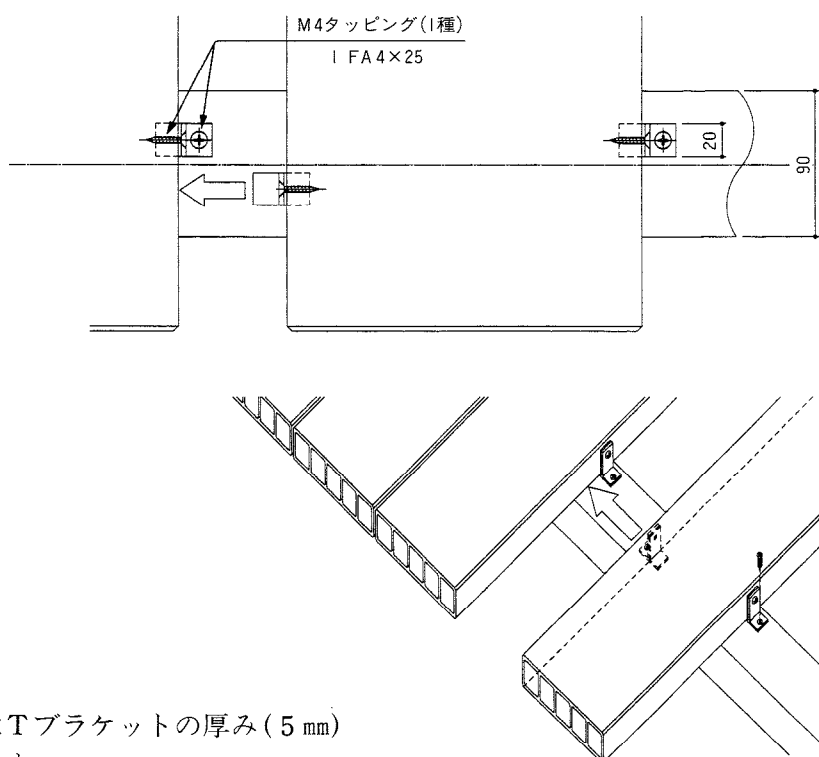
- ・ Tブラケットを使用し、デッキ材を根太に固定します。(B図参照)
- ・ B図作業を順次行ないデッキ材を張っていきます。
- ・ 最初の1枚目と最後の1枚のみ取付方が多少変わりますのでA図を参照してください。

A 図



※デッキ材側面に鼻隠しを取付ける場所には
Tブラケットを取付ける前に鼻隠しネジ持ちBを
デッキ材に挿入しておいて下さい。

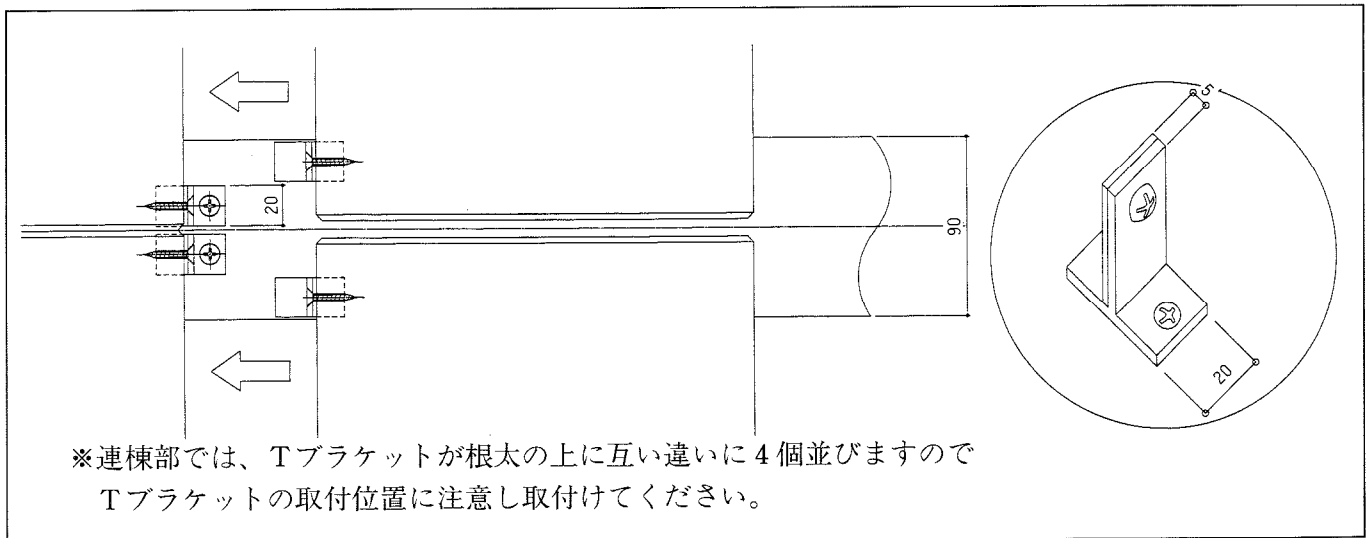
B 図



※デッキ材の目地幅はTブラケットの厚み(5mm)
により5mmとなります。

3-2 デッキ連棟部の取付け

■連棟部におけるデッキ材の連結は必ず根太のまん中で行うようにしてください。



4 鼻隠しの取付け

注) デッキフェンス(手摺)を取付けされる場合は、鼻隠しを取付ける前に施工された方が取付けが容易です。

デッキフェンス取付の詳細は、デッキフェンスパネル内の取付説明書をご覧ください。

■鼻隠しの加工

鼻隠し材は、コーナー部取付けの為、片側を45°カットして、 $\ell = 1900, 2800$ の物を用意しています。

使用部位により、現場加工が必要になります。

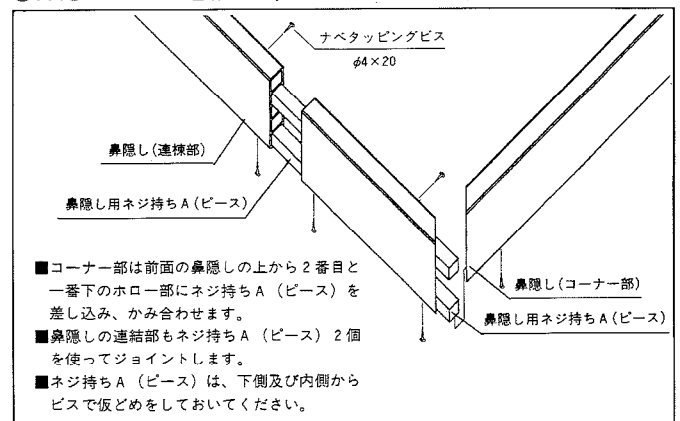
※寸法は、P 2の規格寸法図を参照ください。

注) 間口1.0間、1.5間の場合、前面鼻隠しは、もう片側も45°のカットが必要になります。

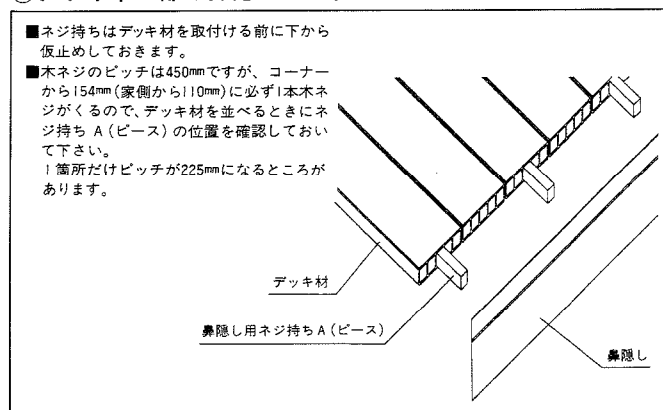
■P14のデッキ説明と下図を参照し

鼻隠しをデッキ材に取付けてください。

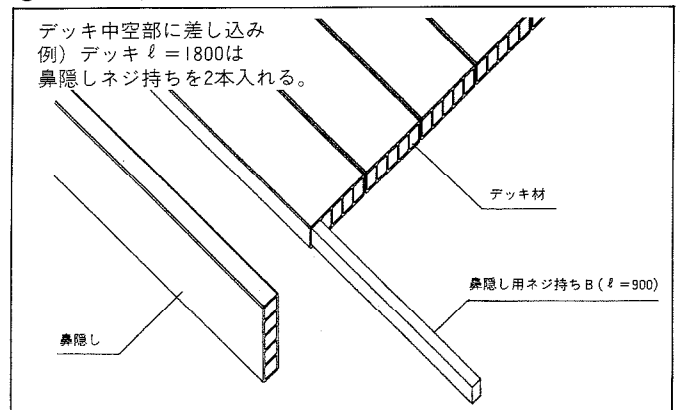
②鼻隠し同志の連結部(コーナー・連棟部)



①デッキ木口部と鼻隠しの取付部

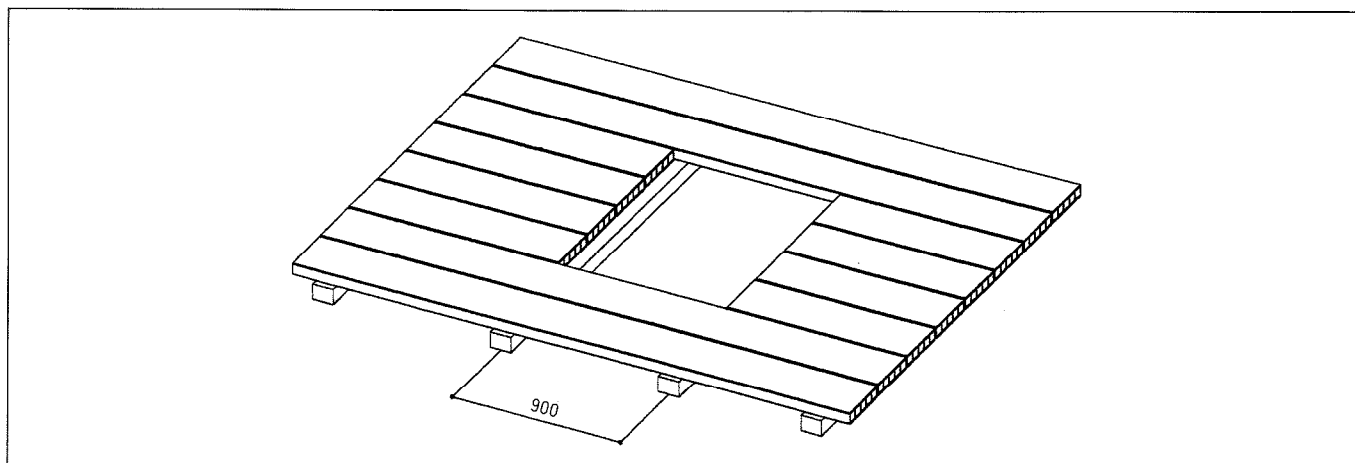


③デッキ材側面部と鼻隠し取付部



5 点検口の組立

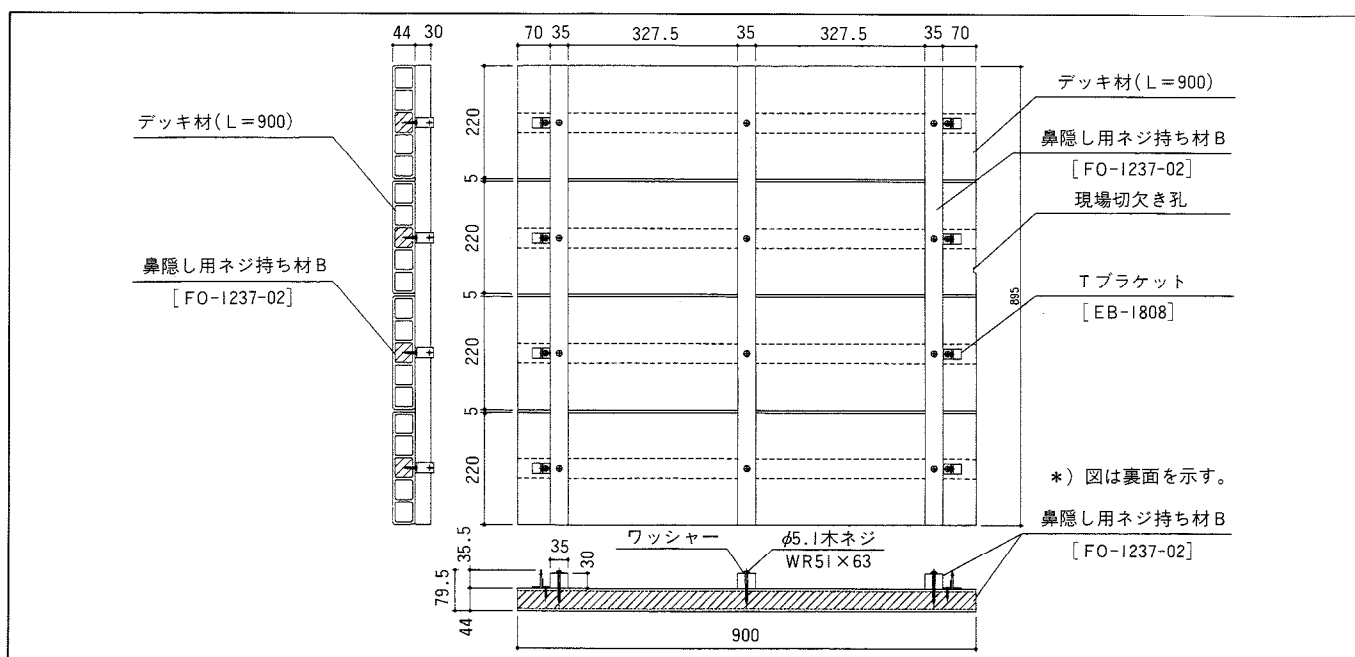
- 1) 点検口を設ける部分は、あらかじめ、切断した状態でデッキ材を施工してください。
点検口は、根太と根太の間に設けるようにしてください。



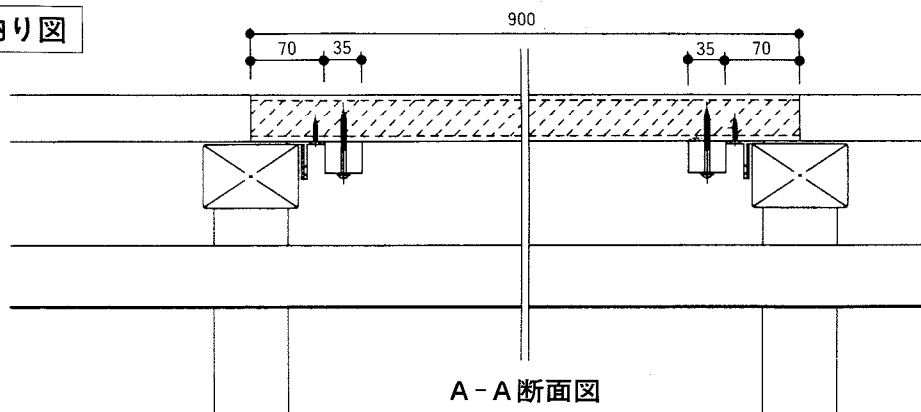
2) 点検口蓋の作成

デッキ材を根太幅(900)に、切断し木ネジ $\phi 5.1 \times 63$ で鼻隠し用ネジ持ち材B($\ell = 900$)を使って下図のように組立てください。デッキ材の目地は、5mmとしてください。

また下図を参照しTブラケットを所定の位置に取付けてください。

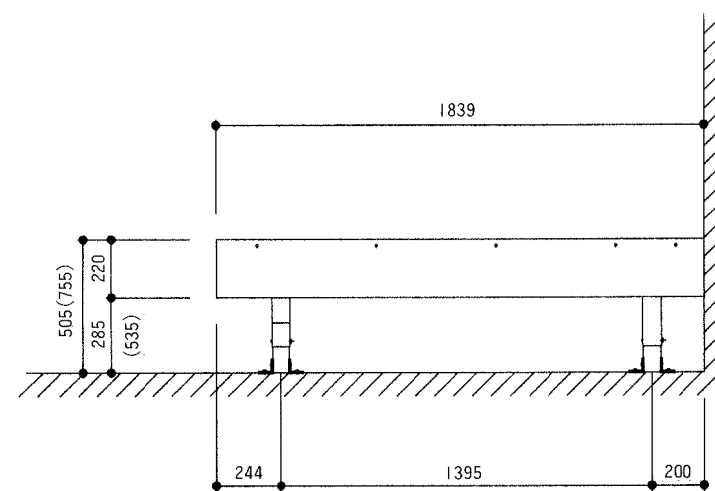
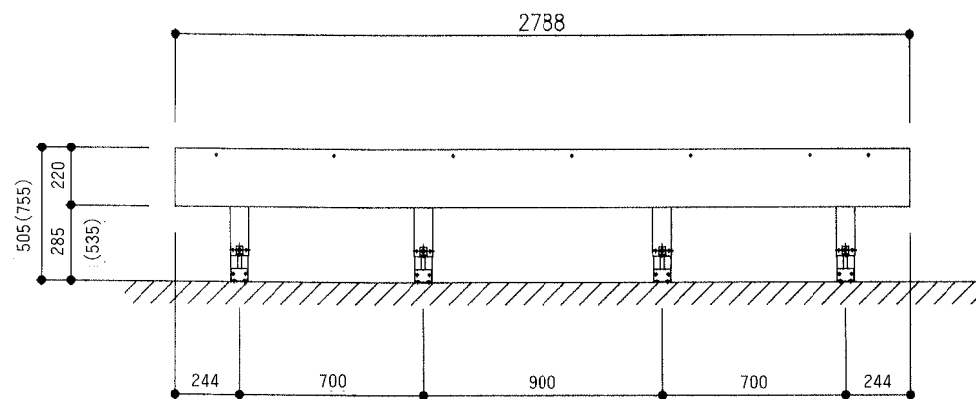
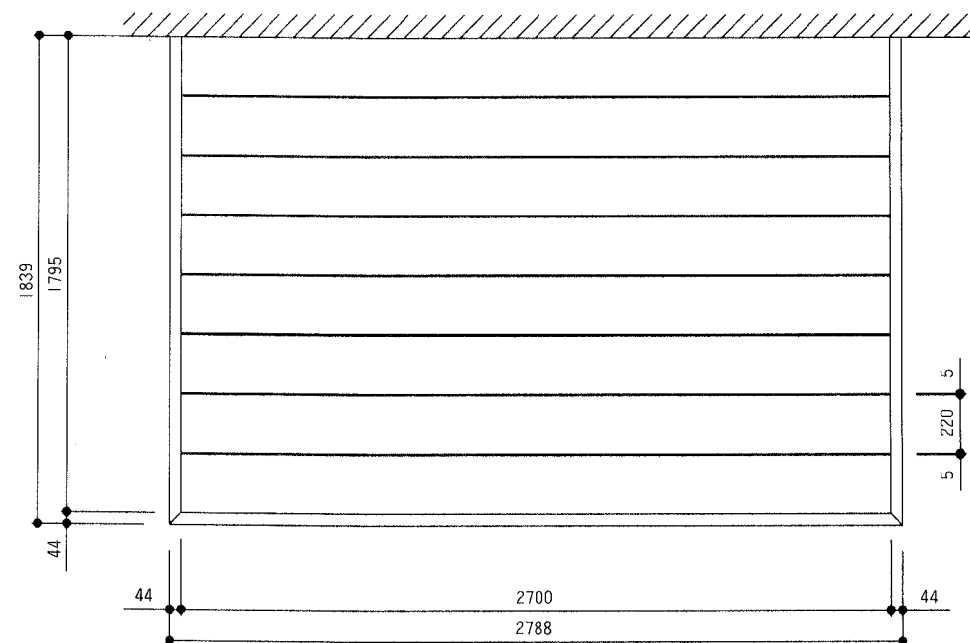


点検口納り図

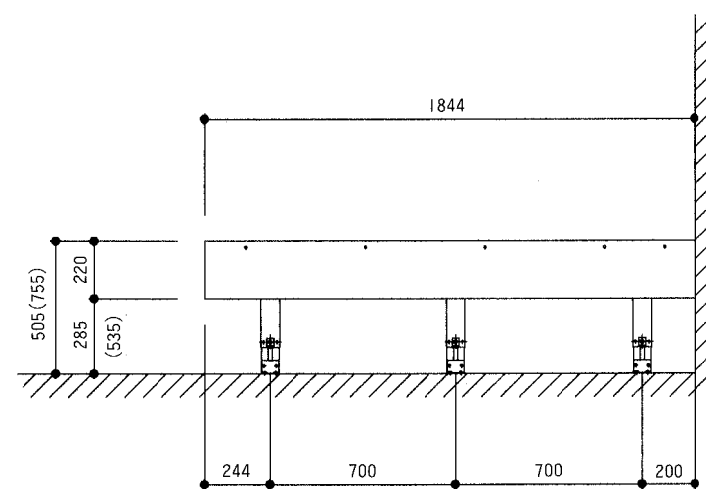
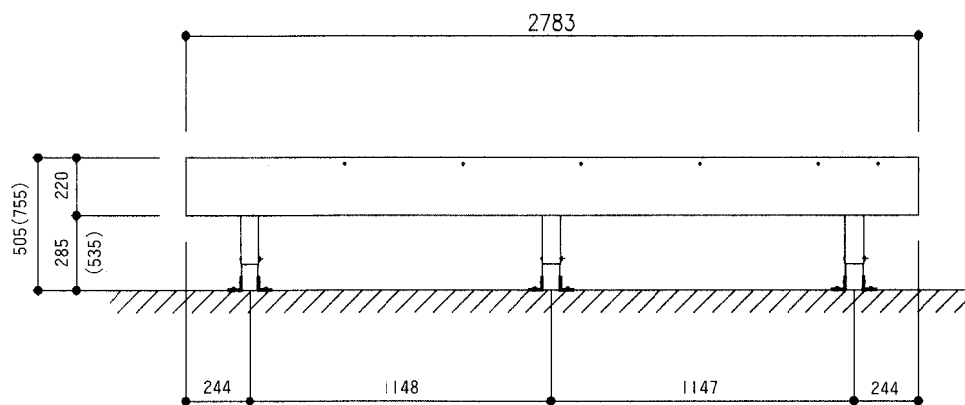
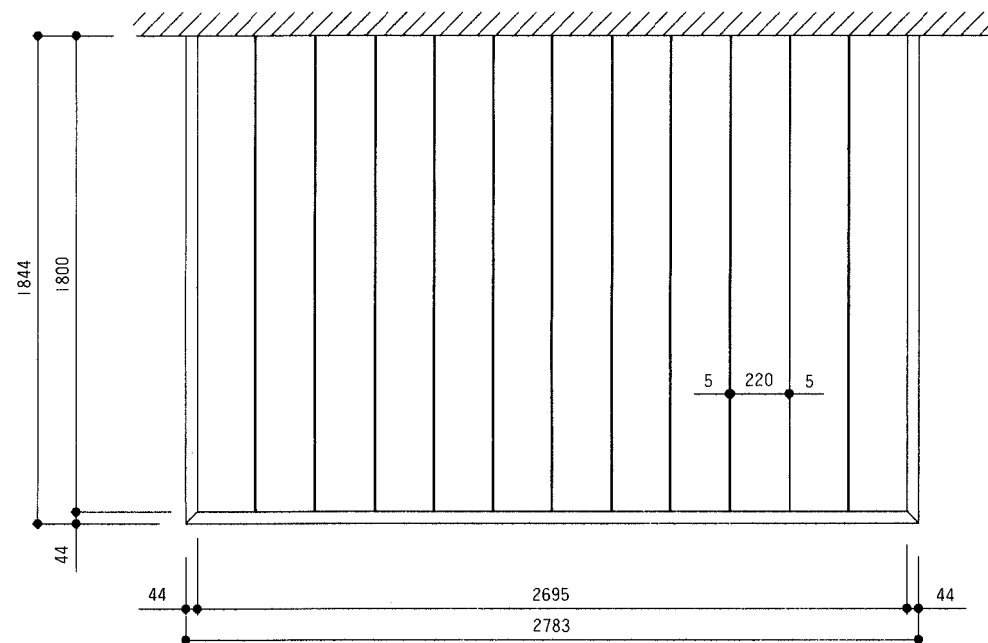


◆納り図（横張り）

1.5間×6尺

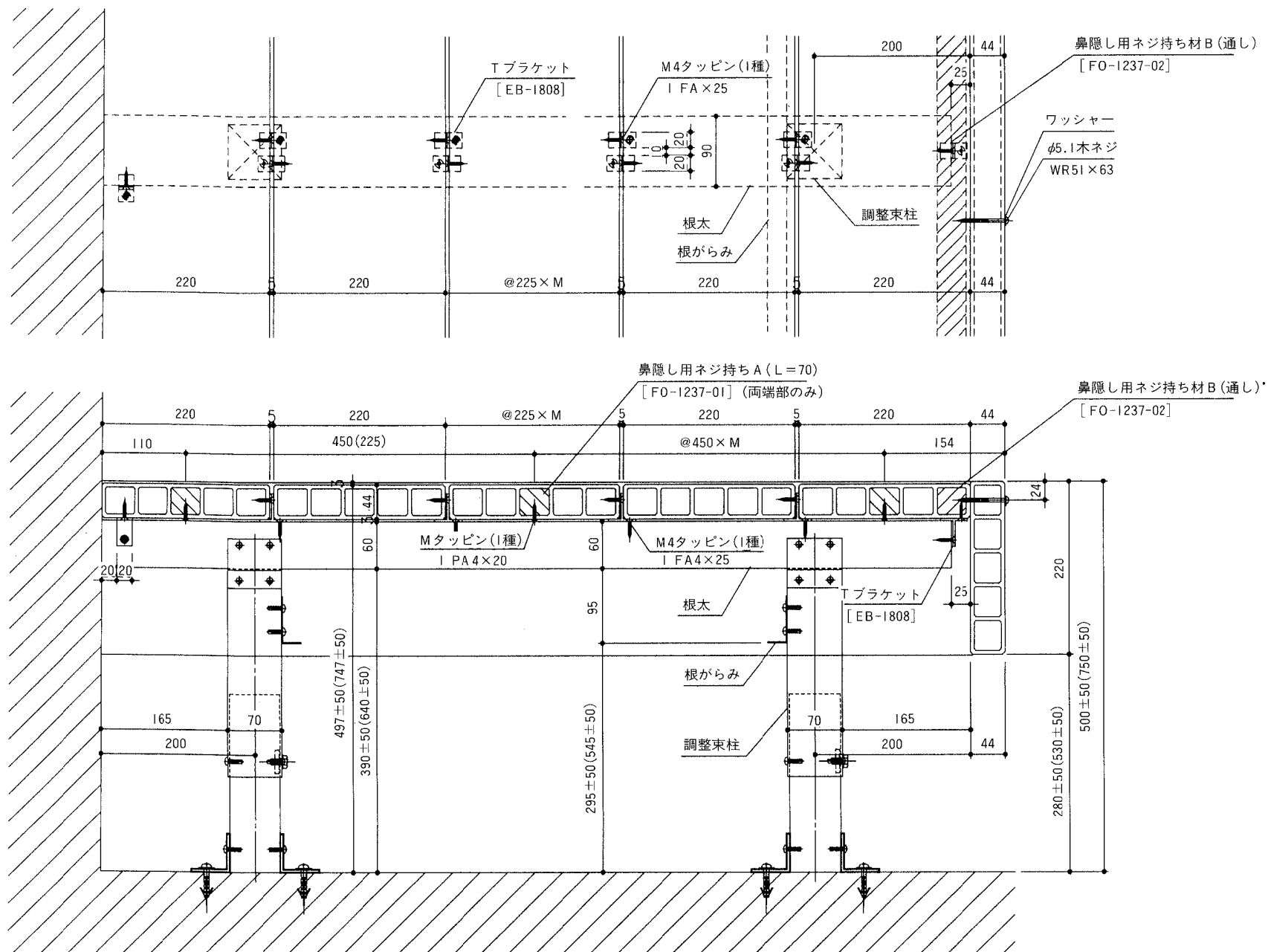


* () 内寸法は長束柱仕様とする。



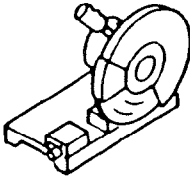
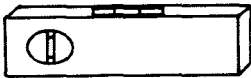
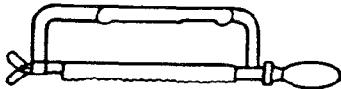
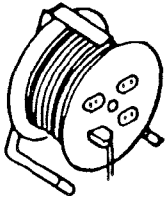
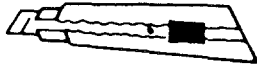
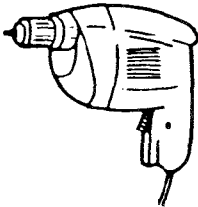
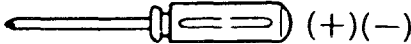
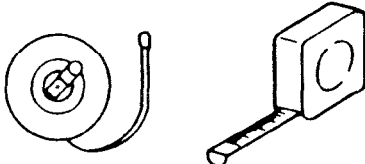
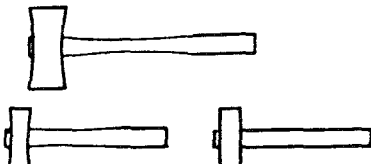
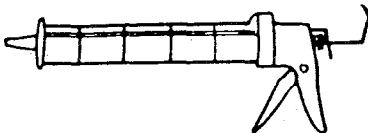
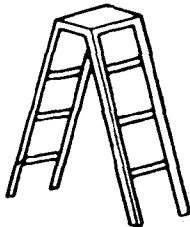
* () 内寸法は長束柱仕様とする。

◆基本断面図 (1)



* () 内寸法は長束柱仕様とする。

工 具

サッシャー	水 準 器	金 鋸
		
電気コード	曲 尺	カッターナイフ
		
電気ドリル	ドライバー/電気ドライバー	ヤ ス リ
		 細目, 並目
巻尺(コンベックス)	ハンマー	ドリル刃
 (5m用)	 (木ハンマ)	 φ3.5 φ4.5 φ9 木工用ドリルφ3 φ4 コンクリートドリル (φ4.5, φ6, φ8)
(赤) 墨つぼ	コーキングガン	脚 立
		
さげ振り(水糸)	消耗資材 ・コーキング材 ・プライマー ・セメント ・砂、砂利、割栗石 ・溶接棒 ・マスキングテープ ・ウエス(布きれ) ・ビット (ℓ=110, 150)	
	左官用具 ・ねり函 ・こて ・スコップ ・バケツ ・タガネ 工具 ・のこぎり	保護具 ・保護帽(ヘルメット) ・保護めがね(防じん、遮光) ・保護手袋(皮手、軍手、ゴム手) ・安全靴 ・安全ベルト

お施主様へ

*このページは、施工後お客様にお渡しください。

- 新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
末長くご使用いただくため、当説明書をお読みください。

使用上のご注意

- デッキ上は、必ず履き物を履いて利用してください。
- デッキ材の表面の色が変色する恐れがありますので、ハイポネックス原液(液体肥料)、漂白剤(塩素系)、マシン油乳剤(殺虫剤)、溶剤は、使用及びデッキ材にはかけないでください。
- 夏期、直射日光下ではデッキ材が高温になる恐れがありますので御注意ください。
- そうじの際には、洗剤等を使わず、水洗いにて作業してください。
- 塗装材料は、紫外線により経年変化(色褪せ等)が生じますので、5年を目安に塗り替えをお勧めいたします。

塗り替え(再塗装)の方法

- 塗り替え作業は、工事店・塗装店にご依頼ください。ご自分で塗り替えをされる場合は、別売の専用補修塗料(TNTXZT02A, TNTXZT10A)をお求めください。また、塗装時には充分換気に気をつけてください。
- 使用量は1ℓあたり9㎡の塗装面を目安としてください。
- 塗り替え手順
デッキ材表面の補修は、左記要領にて補修願います。また、削り取られた様な深い傷は、補修できません。

〈手順〉

- 1) 傷部を木目方向にサンドペーパーにて軽く磨いてください。

注) ペーパー掛けの範囲は、出来るだけ最小限にしてください。

- 2) 塗料を水で^{*}うすめ、ウエスにて木目に沿って塗ってください。
色が薄い場合は、重ねて塗ってください。

※希釈の目安 塗料：水

7：3

● 施工工務店様、販売店様へのお願い

—— お願い ——

この説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL () -		
販 売 店	TEL () -		
商 品 名			

この商品についてのお問い合わせ、ご相談は下記の窓口でも承っておりますので、
ご遠慮なくお問い合わせください。

● ネットワーク

新日軽株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
(ゲートシティ大崎ウエストタワー)
お客様商品相談室
フリーダイヤル 0120-37-2534

東日本エクステリア支店 03-5759-2211
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
(ゲートシティ大崎ウエストタワー23F)
・市場開発課 03-5759-2210
・景 観 課 03-5759-2212

西日本エクステリア支店 06-6380-9275
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町4-34
(江坂第一ビル1F)
・市場開発課 06-6380-9275
・景 観 課 06-6380-9281

九州エクステリア支店 092-482-8581
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11
(山善福岡ビル5F)

札幌支店 011-219-7511
東北住宅建材支店 022-297-3364
北越住宅建材支店 076-237-0122

長野支店 026-224-2878
埼玉支店 048-688-4156
関東東支店 043-247-1251
北関東支店 027-328-2881
東京支店 03-5759-2216
横浜支店 045-641-3381
静岡支店 054-289-6117
名古屋支店 052-731-1911
大阪支店 06-6390-1331
岡山支店 086-243-1243
中国支店 082-544-4134
四国支店 087-833-7611
九州支店 092-712-8191
特需営業総括部 03-5769-8033

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。